

社会教育委員の会議からの提言書提出式 あいさつ

本日は、山梨県社会教育委員の会議の皆様から、これからの社会教育行政のあり方についてご提言をいただきました。たいへんありがとうございました。

ルール違反かもしれませんが事前に予習させていただきましたので内容について若干触れさせていただきます。

ご提言では、まず社会の現状を踏まえつつ、地域で「つながり」を醸成する社会教育の役割を明確にされています。次に社会教育の成果と課題について県内における具体的な活動事例を紹介しながら検討されています。その上で今後の社会教育行政のあり方について、四つの提言を示されています。

一つ目の提言「地域の活性化につながる社会教育行政の方向」では、ネットワーク、コーディネートというカタカナの言葉がまず目に飛び込んできました。なるほど、これらがキーワードか、と思いつつ拝読いたしました。

二つ目の提言「学校・地域の連携と人材育成」では、学校教育行政と社会教育行政が絶えず意思の疎通を図っていくことが求められる、とありました。教育委員会の各課が垣根を越えて連携することがまず求められる、と思いました。

三つ目の提言「社会教育施設の活用」では、図書館や科学館の重要な位置づけを再確認させていただきました。

四つ目の提言「広報活動の重要性」では、広報には説明責任の役割があるということなど、新たな視点を教えていただきました。

今後精読させていただきますが、私どもはこの提言に常に立ち返り、山梨が持っている特性を最大限に生かしながら、多様な人々が関わり合う包摂的社会の実現を目指してまいります。

委員の皆様には、二年の長きにわたりご尽力いただき、誠にありがとうございました。深く感謝申し上げます、お礼の言葉とさせていただきます。